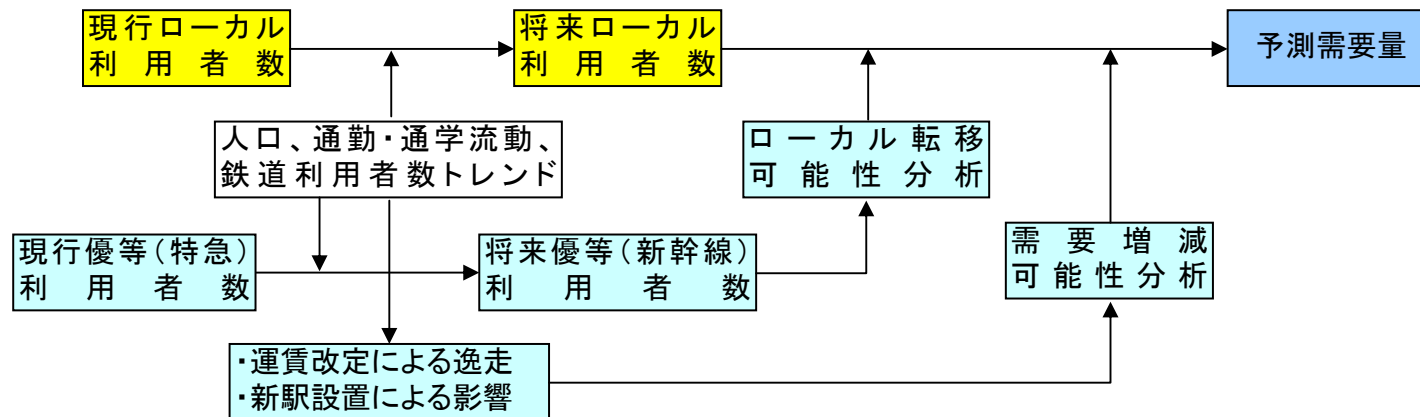


## 「並行在来線(目時・青森間)将来需要予測調査」の概要について

### 1 調査目的

並行在来線の経営収支の算出に必要な旅客収入の的確な把握及びダイヤ編成・要員計画等の基礎資料とすることを目的とし、平成18年6月に実施した青い森鉄道線目時・八戸間及びJR東北線八戸・青森間のOD調査を基に、特急利用からの転移や新駅設置等の需要変動要因を調査、検討し、開業時以降30年間の利用者数を予測する。

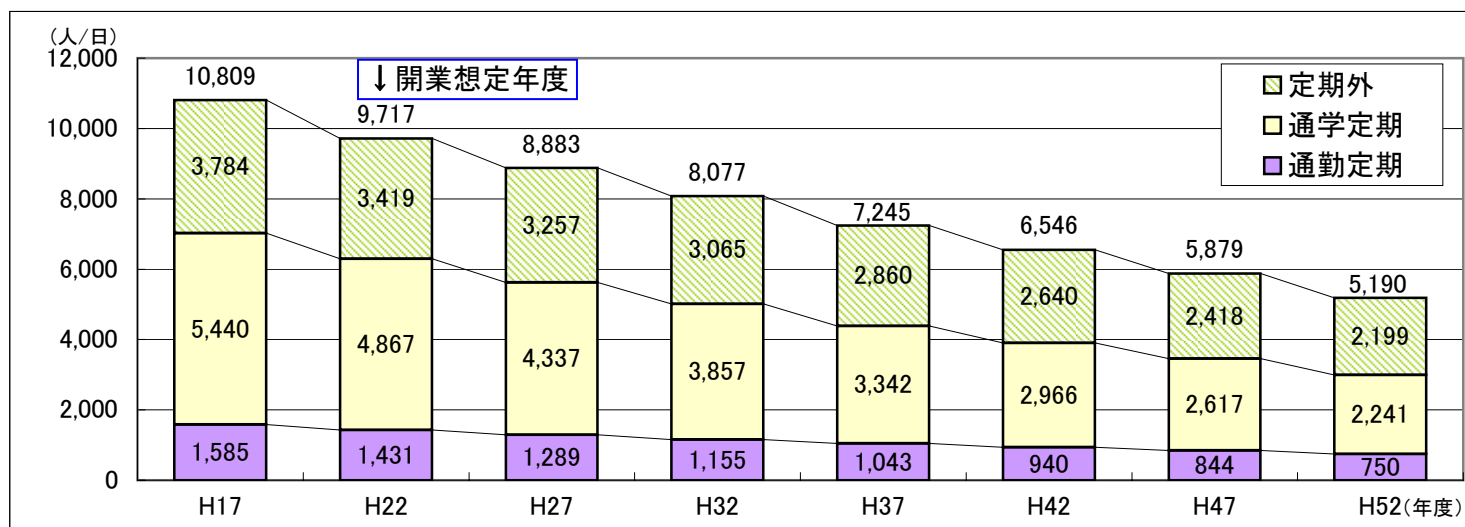
### 2 将来需要予測のフロー



### 3 将来需要予測

#### (1) 将来乗車人員の推移(26駅合計)

現行ローカル利用者数(H17)をもとに、人口トレンド(県が推計した30年間の将来人口の推移を参考)・乗車習慣のトレンド等により、将来の各駅の乗車人員を予測した。



通勤定期	47.3%
通学定期	41.2%
定期外	58.1%
合計	48.0%

通勤定期	52.4%
通学定期	46.0%
定期外	64.3%
合計	53.4%

#### (2) 需要予測結果(輸送密度の推移)

上記の乗車人員を基に算出した輸送密度に、需要変動要因(特急利用からの転移、運賃改定による逸走、新駅設置による影響)を加味して将来の需要量を予測した。

		(人/日)								
区間		券種	H17	H22	H27	H32	H37	H42	H47	H52
目時・八戸間 (青い森鉄道線)	通勤定期		101	98	88	77	71	63	55	48
	通学定期		612	586	505	434	358	307	269	215
	定期外		445	408	385	361	333	305	281	252
	計		1,158	1,092	978	873	762	676	604	515
八戸・青森間 (JR東北線)	通勤定期		483	373	342	304	276	253	233	205
	通学定期		1,005	719	640	578	508	450	392	331
	定期外		944	842	807	768	720	669	608	561
	計		2,433	1,934	1,789	1,650	1,504	1,371	1,233	1,097
目時・青森間	通勤定期		402	315	288	256	232	213	195	172
	通学定期		922	690	611	548	476	419	366	307
	定期外		838	750	717	681	638	591	538	495
	計		2,162	1,755	1,617	1,485	1,346	1,224	1,099	974
需要変動要因	特急利用からの転移		-	364	294	282	271	263	244	240
	運賃改定による逸走		-	△204	△183	△170	△155	△143	△129	△116
	新駅設置による影響		-	-	291	281	260	237	212	185
	合計		-	1,915	2,019	1,878	1,722	1,581	1,426	1,282

通勤定期	42.7%
通学定期	33.3%
定期外	59.1%
合計	45.0%

通勤定期	54.5%
通学定期	44.4%
定期外	66.1%
合計	55.5%

※1 輸送密度とは、その路線の1日・1km当たりの輸送人員を表し、路線の実質的な利用度合いを示す指標。  
 2 各区間別の輸送密度は、JR東日本及び青い森鉄道(株)の年間データをOD調査の結果で調整したもの。  
 3 運賃改定による逸走率は、青い森鉄道線(目時・八戸間)及びIGRいわて銀河鉄道線の開業時の逸走率の平均値である9.6%と設定した。  
 4 新駅に係る需要予測は、青森市実施の調査に基づく。  
 5 新駅設置時期は開業後と仮定し、その影響がH27から現れるものとした。  
 6 端数処理しているため、合計が一致しないことがある。